

事務事業事後評価シート[平成30年度事業]

1. 基本情報

■事業の担当課	まちづくり部生涯学習文化課		■担当係	芸術文化係	
■評価事業名称	芸術文化功労顕彰事業				
■事業開始年度	平成15年度				
■評価事業コード	090200 - 108	■会計区分	一般会計		
■総合計画での位置づけ	■政策	02 生きる力を育み、文化が躍動するまちづくり			
	■基本施策	04 芸術文化の振興・国際交流の推進			
	■施策	01 芸術文化活動の推進			
■事業の類型	05 ソフト事業(任意)		■政策・業務区分	政策	
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの				
■法令等の名称	北上市芸術文化功労等顕彰規則				
■関連計画の名称	北上市教育振興基本計画(平成28年度～平成30年度)				
■事業の目的と概要	<p>広く市民が功労を知ることができると共に、芸術文化活動に取り組んでいる個人・団体の活動意欲が向上し、芸術文化の人材育成につながる。北上市の芸術文化の向上又は発展に優れた功労のあった方を北上市芸術文化功労等顕彰規則により推薦を募り、表彰候補者を審査の上、顕彰委員会で表彰者を決定し表彰する。</p>				

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	平成30年度事業計画	平成30年度事業量実績
01	芸術文化功労顕彰事業	市民	顕彰委員会開催1回(委員5名)表彰式開催1回(体育功労等表彰式と同時開催)	顕彰委員会開催1回(委員5名)表彰式開催1回(体育功労等表彰式と同時開催)功労賞2名、奨励賞2名1団体

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	備考
直接事業費	133	102	139	134	
人件費	2,830	2,102	2,060	2,075	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	2,963	2,204	2,199	2,209	

4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	27年度	28年度	29年度	30年度	指標の説明
01	審査会回数	1回	1回	1回	1回	
02	表彰式開催回数	1回	1回	1回	1回	体育功労等表彰と同じ会場で開催している
03	受賞者数	2名1団体	各1名	3名1団体	4名1団体	芸術文化功労賞、芸術文化奨励賞の受賞者数

事務事業事後評価シート[平成30年度事業]

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

■目標達成状況

- A. 順調
- B. 概ね順調
- C. 遅れている

達成状況の分析

事業の目的通りに事業を行っている。

問題点・課題等

特になし

1. 直接的な受益者の範囲

- 不特定多数に及ぶ
- 特定されるが多数に及ぶ
- 特定少数に限定される

2. 国・県・民間との競合関係の有無

- 類似の事業はない
- 類似の事業はあるが競合はない
- 類似の事業があり競合する

3. 事業廃止の影響・貢献度

- 事業の廃止により重大な問題が発生する
- 事業の廃止により何らかの問題が発生する
- 事業の廃止による問題は想定されない

4. 市民生活・企業活動への貢献度

- 市民生活・企業活動の維持に不可欠
- 市民生活・企業活動の維持に一定程度貢献している
- 市民生活・企業活動の維持への貢献度は低い

5. 事業廃止の影響を受ける受益者の割合

- 1. で選択した人の大多数(70%程度)
- 1. で選択した人の半分程度(50%程度)
- 1. で選択した人の少数(30%程度)

6. 事業へのニーズの変化

- ニーズが高まっている
- ニーズは変わらない
- ニーズが低下している又は合致しない

7. 施策の改善需要度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

8. 施策の優先度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

9. 他市町村に比較しての優位性

- 先進的またはユニークな事業である
- 他と同程度の事業である
- 遅れている事業である

10. 実施主体の代替性

- 民間委託等の拡充は難しい
- 民間委託等の拡充が十分に可能
- 全部委託や実施主体の移行が可能

11. 経済性・効率性の向上

- 今以上の効率化や改善は難しい
- 効率化や改善を図ることは十分に可能
- 効率化や改善の余地が大きい

■事業の見直し方策(評価項目2,4の補足説明含む)

芸術文化の人材育成につながるため、事業を継続する必要がある。

■今後の方向性

- I. 拡充
- II. 継続
- III. 縮小
- IV. 廃止・休止
- V. 完了